

課題NO.2

先進的園芸経営体の 生産技術向上による経営安定

活動期間：令和2年度から令和3年度まで

対象者：株式会社イグナルファーム大郷

チーム員：中村・小野寺・堀越



株式会社イグナルファーム大郷 概要 (R3.4現在)

沿革：(株)イグナルファーム（東松島市）の100%出資により平成29年10月大郷町内に設立

役員：代表取締役 阿部 聡（ほか3名） 従業員：正社員4名，パート14名

事業内容：ミニトマト（栽培面積1ha）の生産販売

生産の特徴：養液栽培（ヤシ殻培地），スマート選果機，生産管理システム（AGRIOS）等

1 課題の背景・ねらい

▶ 背景

- ・令和元年東日本台風被災（令和元年10月）
- ・令和2年4月から栽培再開するも、長期間休業したことにより収益，職員数が減少
- ・早期の経営回復に向けて，安定生産や生産効率化などの支援が必要

▶ ねらい

- ①環境制御技術等の習得，活用により，収量向上，安定生産が図られる。
- ②作業内容，作業分担の見直し等による作業の改善（作業効率化）が図られる。



2 活動内容① (R2年度) 1) 環境制御技術の習得支援

群落に光飽和点はない

常に群落の下の方は光不足
光が十分なら、LAIを更に高めて
増収が狙える。

光合成速度
光強度

環境制御技術勉強会

〔(株)イグナルファーム大郷〕 令和2年11月26日
18日(水) (株)イグナルファーム大郷 漢野

バランスシート

要素数	総液EC mS/cm	標準EC mS/cm	LAI m ² /m ²	標準率 %
43.8	1.7	1.8		64.3
50.0	1.8	2.0	2.0	57.4
57.7	1.8	2.1	2.5	51.6
64.3	1.8	2.2	2.5	49.0

生種生長 (cm) 樹勢強 (cm) 樹勢弱 (cm)

○本年 △前年

ウィークリーレポート (WR)
作成・データ検討支援

作の振り返り検討会

2) 作業工程の確認, 見直し支援

作業進捗確認, 課題, 対策
(見直し) について意見交換

作業振り返り検討会

収穫作業手順書

作業マニュアル作成支援

2 活動内容② (R3年度) 1) 栽培管理技術等向上支援



高温対策検討支援 (4月)
栽培振返検討支援 (8・11月)

月	旬	アザミウマ類	コナジラミ類	斑点病・疫病	葉かび病	アノフムンク
6月	中旬					
	下旬			アフェットフロアブル 7	治	3
7月	上旬					
	中旬			ホライズンドライフロアブル 27,11	治	3
8月	上旬					
	中旬			ベルコートフロアブル M07	治	2

農薬・防除の勉強会
防除暦策定支援 (5月)



WR活用支援
高糖度化に向けた技術支援

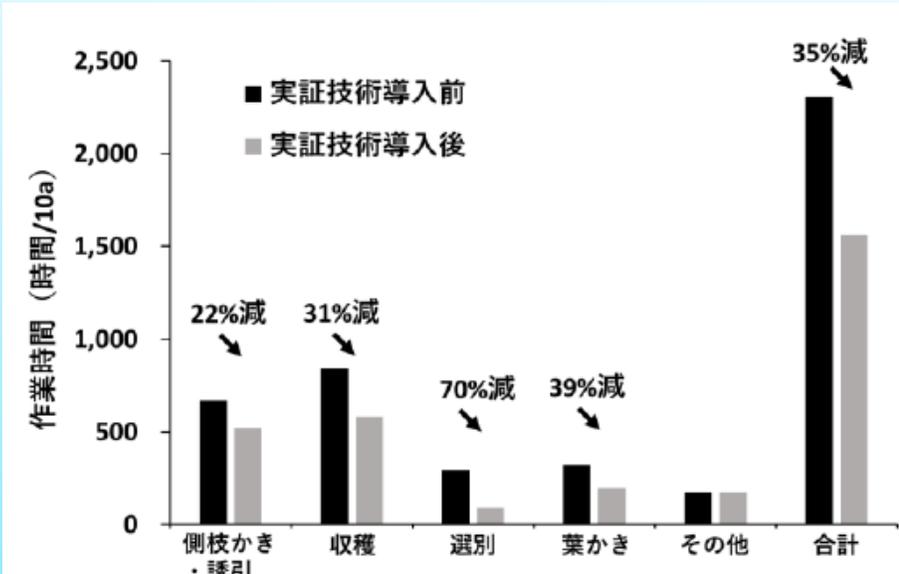


他法人との情報交換 (5月)



他法人との情報交換 (12月)
環境制御技術交流ネットワークへの参加

2 活動内容③ (R3年度)

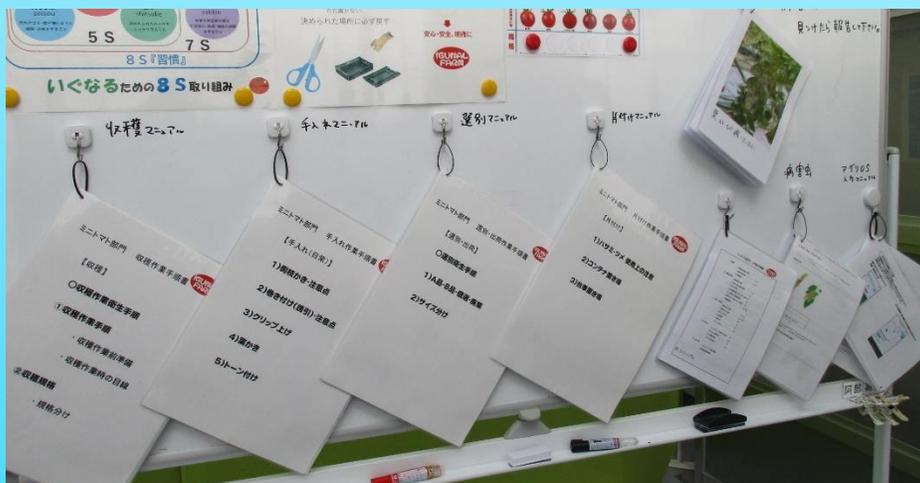


R2スマート農業実証の実績の共有と振り返り (4月)

2) 作業管理体制の整備支援



経営コンサル会議 (毎月web開催) へ参画
(生産計画, 労働力の状況等)



マニュアル活用等支援



作業振り返り検討会

3 活動成果①

■ 栽培管理技術等向上支援

水の蒸発による
気化熱利用



高温対策実施
(ダクト内散水+送風)



WRの活用促進
(職員が主体的に検討)



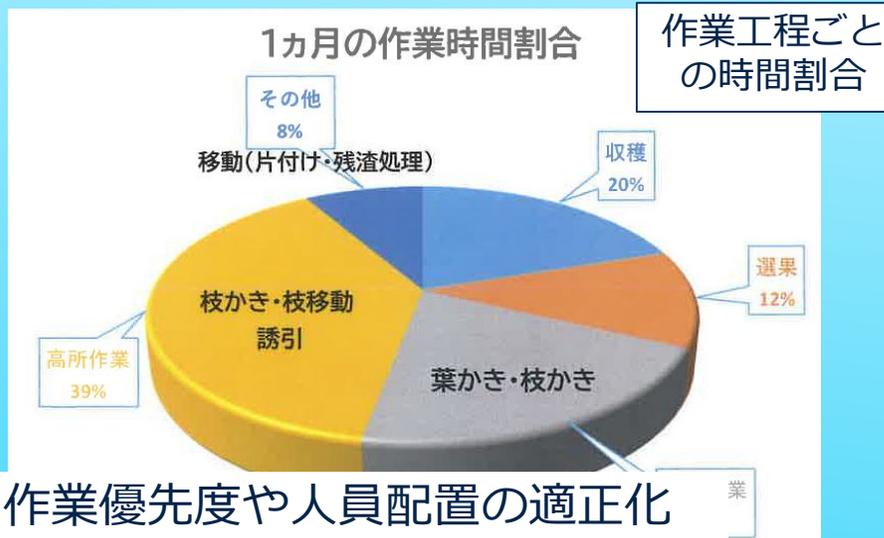
高糖度による新たな販路確保

■ 作業管理体制の整備支援



1日農業バイト
「daywork」
アプリ画面

労働力の確保



選果スペースへの
冷房設置

3 活動成果②

■ 定性的目標

1. 環境制御技術等の習得，活用により，収量向上，安定生産が図られる。
 2. 作業改善に関する知識の向上により，職員の作業精度の平準化と作業効率化の取り組みが行われる。
- 
- ✓ WRを活用した社内ミーティング・栽培振り返り検討会を通じて，環境制御技術への理解が深まった。職員が主体的に農場運営や栽培管理へ関与。 → 生産量の増加（6～12月実績前年比約124%）
 - ✓ 作業改善のための労働時間の把握，作業振り返り検討会を通じて，作業の優先度の決定や人員配置の改善を図れるようになった。 → 作業効率アップ（11～12月実績前年比約12%向上）

■ 定量的数値目標：出荷量（10a当たり，4月～翌3月 <見込み>）

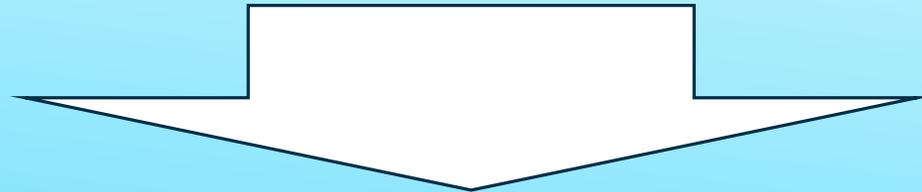
年度	R1	R2	R3	目標比 約60% 前年比 約130%
実績（目標）	5.9t（－） （台風により栽培中止）	9.2t （17t）	12t程度 <※> （19.5t）	

※収量実績（～R3.12月）及び経営会議「作付・売上計画」（R4.1～3月）より

4 今後の対応

巡回指導や振り返り検討会を通じて主に栽培技術面のフォローアップ

- ▶ 環境制御技術の活用支援
- ▶ 病害虫防除（かいよう病等）に関する支援



重点活動「環境制御システム導入経営体の技術向上」

にて引き続き支援を継続